



只見町の企業誘致事業により二軒在家地区に工場を設置、1975年（昭和50年）1月より操業を開始された「内外マリアブル株式会社津工場（旧社名）」は自動車部品を製造、販売されている鋳物（金属を溶かし、型に入れて作った器物）部品製造メーカーです。高精度の製品を次々に製造され、国内外問わず自動車販売メーカーのニーズに応える「株式会社津工場」の取り組みについて紹介いたします。

▲Hプロセス工法による製品の製造（鋳込み）

株式会社 会津工場

世界が認められたプロの技術
多様なニーズに応えるHプロセス工法

Hプロセス工法の導入

イギリスで開発された「Hプロセス」という工法を1983年に導入、精密部品を製造する量産体制を確立、以後1988年にはHプロセス用の金型も社内でも製造するための金型工場を設置、同時に製品の切削加工部門もスタート、1999年から独自営業を開始、業務拡大を目指しました。

Hプロセス工法とは製品を作り出す型を何枚も重ね合わせ、精度の高い鋳物製品を一度の鉄の流し込みにより数多く製造する工法で、次のような利点があります。

- ▽コストの低減、効率の向上
- ▽寸法精度の向上、重量バラツキの減少
- ▽高い保温性により急冷を防ぎ、材質が均一になる
- ▽不良の減少
- ▽仕上げ作業の低減
- ▽各作業の単純化

この工法を行うことにより、作業の合理化と効率化が実現し

ますが、難易度が高く製品の量産体制が確立されている工場は国内では会津工場の一社のみで、世界でも数社ということになります。

会津工場でも、今の体制に至るまでは10年以上の期間を要し、その間、独自の研究や試作を繰り返し、社員全員で知恵を出し合い試行錯誤の結果、現在のシステムを確立されました。このプロセスを経て蓄積された会津工場にしかないノウハウは、自社ブランドとして同業者や世界の自動車メーカーから大きく評価され、注目されています。

この工法により製造される製品は、高精度に加え軽量で、複雑な形状の製品にも対応、さらに細かい部分は、切削加工を施すというすべての製造工程を自社工場内で行い、ローコスト化を実現、他社にはできない付加価値の高い製品となっています。

今後の展望と方針

只見町の誘致企業としてこの地で操業を開始し、36年になります。

一昨年のリーマンショック時は、明日の操業が危ぶまれるほどの厳しい状況に陥りましたが、行政のお力添えもいいただき何とか立ち直る事ができました。現在は自動車用鑄造部品を主に月産80〜100万台の製品を生産しておりますが、ここまで紆余曲折しながらも続けてこれましたのも、応援してくださる皆さまの温かいご支援のおかげと感謝しております。

弊社は独自工法である「Hプロセス工法」による高精度、高品質の製品作りを武器に他社とのレベルの差を実現してきましたが、今は品質だけで

勝負できる時代ではなくなつてきています。情報のグローバル化により世界中の競合メーカーとの競い合いが始まり、特に近隣アジア諸国との競争は激化しております。今後さらなる発展を図るには、世界と競争できる低コスト化の実現と高スキルな人材育成が急務と考えています。

そのため今年度より新プロジェクトを発足させ、より効率的な生産性を実現させる計画を組んでいます。

このプロジェクトを成功させることが「株式会社会津工場」の生き残り手段と捉え、より強固な企業への発展を目指します。

今後とも、ご指導を、よろしくお願いいたします。



株式会社 会津工場
代表取締役社長
鈴木 直記さん

徹底した品質管理

会津工場では、Hプロセス工法の型をつくる金型の製作から、同工法で製造された製品の切削加工、仕上げ、寸法精度の測定、強度試験など、製品が完成するまでの一貫作業を自社で行なっています。

これにより、製品が完成するまでの経過をすべて把握、管理でき製品納品後のトラブルやクレームなどにも迅速に対処、スムーズな問題解決が可能となっています。さらに、一部作業を外注対応する会社と比べ、半分以上の期間で納品できるという大きなメリットもあり、他社には真似のできない品質管理システムが会津工場の最大の特徴です。

国内外の

自動車部品を製造

現在、会津工場では製造販売されている製品の種類は約100種類と豊富、そのほとんどが自動車部品で、ターボチャージャー、カーエアコン、マニユアルミッションなどの一部に使用される部品など、用途はさまざまです。納品個数は月産で100万個、国内では全自動車メーカーの販売車に、国外では、フォードやBMW、アウディな

どの販売車に使用されています。

躍進する誘致企業

昭和50年にスタートされた会津工場は、現在、従業員92名で、町内の本社工場と千葉営業所があり、ほかに4社の関連会社と連携を図りながら営業されています。

Hプロセス工法を取り入れ、研究開発を重ね、独自の鑄造工法として量産システムを確立、製品製造の全工程を自社のみで

行い、徹底した製品管理と低コスト化、納期の短縮化に取り組み、高精度な付加価値の高い製品を販売することに成功、今なお、より良質な製品の製造開発に努力を惜しまない会津工場は、中心的な雇用の場として地域経済を支え、若者の定住にも貢献されています。

このように、将来のさらなる躍進が期待される誘致企業「株式会社会津工場」の「鈴木直記代表取締役社長」に思いをお伺いしました。

Hプロセス製品紹介

【素材重量62%減、加工工数大幅低減に成功した事例です】

他社鑄造品
(素材重量3.7kg)



Hプロセス鑄造品
(素材重量1.4kg)

